

「家を出る日のために」カードゲーム

定価 2800 円 (税込価格 2940 円)

【内容】

一人で自立して暮らすために、知っておいたほうが良いこと、考えておいたほうが良いことを、具体的な質問で取り上げたカードゲームです。

【対象】

- *中学生～大学生
- *大人

【ゲームの特徴】

ファシリテーターが付き、ワークショップスタイルで実施できるカードゲームです。「正解」の提示ではなく、参加者すべてが自分のこととして考え、気づきを得るためのツールとして、使用します。ゲームの行い方の解説書をつけ、ほかに備品や資料などを用意する必要なく実施できるようにしてあります。

【ねらい】

現在、自立の必要性は認識されていますが、では自立とはどのようなことなのかが抽象的なまま、あるいは「成熟」というあいまいな精神論のまま、「若い人が自立できていない」ことが社会問題として取り上げられているのが実態です。また、義務教育（社会的な教育）と家庭教育（家族間の教育）のはざま、子どもを一人前に自立させるための教育がなされないまま成長し、その後も若い人が高校、大学の時期を自立に向かう大人からのケアを受けずに過ごし、社会人としていきなり自立を求められている面があります。

家事塾は、このカードゲームを、「自立」を具体的な行動や考え方として提示し、若い人が自分の中に行動の基準や考え方の枠組みを作っていけることを目的として、作成しました。

【作成プロセス】

暮らしの専門家としての教育を受けた 30 代から 60 代までの「家事セラピスト」が、自身の育児経験や社会環境を考慮して、質問文を作成しました。

全体の編集は、家事塾代表であり、東海大学非常勤講師（生活行動論）、子ども環境アドバイザー（子ども環境学会認定）、文筆家として、数多くの現場を見てきている辰巳渚が行いました。

また、制作にあたっては、イギリスで若者の自立支援事業を幅広く展開している「シェルター」のカードゲーム「The Housing Card Game」を参考にしました。

【その他】

- ・英文を併記し、生きた日常の英語を学べるようにしました。

